



スケートを通して地域活性化と子どもたちに笑顔を

若林勇太さん(下段左)とスケーターズクラブの皆さん

日光スケーターズクラブ

スケーターズクラブについて教えてください

11月から2月まで大会などの日を除く毎週日曜日に日光霧降スケートセンターで活動しています。今年には会員数80名、インストラクター15名で活動しています。

インストラクターはどのような方ですか？

元スピードスケートの日本代表選手や元日光アイスバックスの選手から趣味でスケートをやっている人など、レベルはさまざまです。小学生までスケートをやっていたいという方も自ら練習し、初級者の子どもたちに指導してくれています。皆仕事の傍らで手伝ってくれて職業もさ

日光スケーターズクラブは栃木のスケート競技の普及と発展、日光を活性化したいという強い想いから、2014年に発足しました。今回は、代表の若林勇太さんにお話を伺いました。

苦勞していることは？

まざままです。それがクラブの指導方針や運営方法において多様性をもち、新しいアイデアが生まれる大きな要素となっています。また、子どもたちに社会性や人間性において大事なことを伝えてくれています。

うれしかったことは？

生徒が増えてきている中、指導者を集めることが非常に難しくなっています。スケートは特定技術が必要とするので、経験者の協力が不可欠です。

今後の目標は

生徒の中から本格的に競技の選手としてスケートに取り組む生徒を増やし、将来冬季オリンピック選手を生み出すことです。

また、今後は指導者の育成と支援にも取り組んでいきたいと思っています。指導者を育成し将来的にスケートの実践者を増やし、市内のスケート文化を永続していく事です。

♡インタビューを終えて…

「スポーツを通して日光市の新たな価値を創出することも今後の目標の1つ」と語る若林さん。若林さんをはじめ、日光スケーターズクラブの皆さんの熱意が伝わってきました。将来、クラブの生徒の中からオリンピック選手が誕生する日が楽しみです。



レベルに合わせて指導をします